

第10回見附女子軟式野球大会 –ミズノカップ– 開 催 要 項

- ・ 目 的 ■女子軟式野球の振興、技術の向上を目指すとともに、県内外チームとの交流を目的に実施。
- ・ 主 催 ■見附市体育施設指定管理者 見附市スポーツ協会・ミズノグループ
- ・ 共 催 ■新潟県女子野球連盟
- ・ 後 援 ■見附市、見附市教育委員会、見附市野球協会
- ・ 協 賛 ■ミズノ株式会社
- ・ 大会日程 ■令和 7 年 7 月 12 日(土)、13 日(日)
- ・ 会 場 ■見附運動公園野球場(見附市本町字焼田所1308-3)
■市民野球場(見附市片桐町500番地)
- ・ チーム編成 ■1チームの登録選手は、10名以上25名以内とする。
※登録選手に変更(追加登録、登録選手の入替え等)が生じた場合は、本部、対戦チームに、
変更後の登録メンバー表を提出すること(当日可)
- ・ 背 番 号 ■コーチ・選手の背番号は、0を含む二桁までとする。尚、監督の背番号は30番とする。

・ 参加チーム

出 場 チーム	
① 上越ブレイカーズ (新潟県)	② NLライズ (新潟県)
③ ダラズ (石川県)	④ 紫しきぶう (東京都)
⑤ バットマン (東京都)	⑥ 東京アンビシャス (東京都)
⑦ 千葉マリンスターズ (千葉県)	⑧ セカンドラスター (愛知県)

- ・ 試合方式 ■トーナメント戦 (別紙参照) ※天候次第で試合時間・方式の変更がございます。
- ・ 大会規則 ■2025年度全日本女子軟式野球規定を適用する。
ただし、試合時間等一部は大会独自ルールを適用する場合があります。
- ・ 開閉会式 ■代表者会議：実施しない
■開 会 式：実施しない
■閉 会 式： 決勝戦終了次第実施 (見附運動公園野球場) ※全チーム参加

開会式	実施なし
-----	------

閉会式	① 開 会 ② 成 績 発 表 & 表 彰 ③ 抽 選 会 ④ 挨 拶 ⑤ 閉 会
-----	---

※開閉会式の実施については、変更する場合があります。

- ・ 表 彰 ■優勝:賞状 カップ(持ち回り) 景品 ◆準優勝:賞状 盾 景品 ◆3位:賞状 楯 景品
※個人賞の授与を実施します。
※閉会式の際に、景品が当たる抽選会を実施します。
※参加全チームに参加賞があります。(大会初日の受付時にお渡しします)

- ・ 試合規定 ■現行の女子日本軟式野球規則に従うが、付記は次の通りとする。
 - ①トーナメント戦は、7イニング制とし、尚且つ、1時間40分の時間制限を設ける。
 - ※規定イニング・時間が終了し同点の場合は即タイブレーク方式を1イニングのみ採用する。
 - ※タイブレークで勝敗決まらない場合はメンバー9名でジャンケンをし勝率が高い方が勝者。

【延長回（タイブレーク）の取り扱いについて】

- 無死、走者1、2塁から行い、打順は継続とする。
- 走者は、前項による打者の前の打順のものが1塁走者、1塁走者の前の打順のものが2塁走者となる

- ②コールドゲームは採用しない。
- ③準備投球は、初回5球とし、2回目以降は3球とする。投手交代の際の投球数は5球以内とする。
- ④1塁、3塁のランナーコーチは必ずヘルメットを着用する。
- ⑤全試合シートノックは行わない。
- ⑥スターティングメンバー表は4部提出とし、試合前に各コートで行います。
- ⑦ベンチには選手、代表、監督、コーチ（2名以内）、マネージャー（1名）、スコアラー（1名）を認める。
- ⑧指名打者（DH）ルールを採用する。
- ⑨試合中は、対戦表左側のチームが1塁側、もう一方が3塁側のベンチを使用する。
- ⑩当日の天候等で、試合規定を変更する場合があります。

【競技規定（一般の部）】

- 塁間：25m ● 投本間：17m ● ホームランライン：74-86-74m
- イニング：7回（100分） ※ホームランラインは設けません。全面フリーとする。

- ・ 審判員 ■大会1日目：球審、二塁審のみ見附野球連盟の審判員が対応します。
一塁・三塁審判は、ブロック内で試合を行っていないチームの方が務めること。
- 大会2日目：決勝戦・3位決定戦は見附野球連盟審判団が務めます。
その他試合は、一日目の実施方法を採用する。

- ・ ボールパーソン得点係 ■ブロック内で試合を行っていないチームから2名以上派遣し務めること。
※チーム事情により塁審等を出せない場合は、相手チームと相談するか本部にご相談ください。

- ・ 試合球 ■公認M号ボール使用、全試合主催者側で用意します。

- ・ 注意事項
 - ①開閉会式及び試合中はユニフォームを着用すること
 - ②ファールボールは野手及びダッグアウト側のチームにて対応する。
 - ③金属製またはポイントシューズを使用してください。
スパイクのチーム統一は問わない。各自のスパイクを使用することができる。
 - ④アップ等でのグラウンド使用は7:00より可能。 ※全会場使用可能
 - ⑤試合後のグラウンド整備は、両チームでご協力をお願いします。
 - ⑥試合会場のライン引き、ベースの設置は、県内チームの選手・関係者で協力してお願いします。

- ・ 交流戦について ■大会2日目（7月13日）終了後に運動公園野球場と市民野球場を自由解放する。
 - ①交流戦を希望するチームは対戦したいチームと打ち合わせ後、本部まで試合する旨を報告。
 - ②交流戦を希望するチームが多数あった場合、使用する球場は本部で決めます。
 - ③審判など球場準備は当該チームで行ってください。

- ・ 怪我等について
 - ①大会中に発生した事故等については主催者側で応急処置はするが、その後の処置については責任を負いませんので、十分に注意してください。
 - ②参加者は、安全保険に加入して下さい。